



# こうか 市議会 だより

city  
assembly  
report

Vol. **40**

おもな内容

- 議案審議 ————— 2~3
- 平成25年度決算 ————— 4~7
- 常任委員会報告 ————— 8~11
- 一般質問目次 ————— 12
- 一般質問(18名が問う) — 13~21
- 特別委員会の動き ————— 22
- 組合議会・議会報告会案内他 — 23
- こうか再発見VOL.12 ————— 24

## 議会報告会を開催

平成26年11月13日(木)~15日(土)

●詳しくは23ページをご覧ください。



大原祇園祭

決算・補正予算・人事・条例・請願・意見書 ほか

# 決算認定、補正予算、条例案件等を慎重審議

平成26年9月定例会は9月2日から9月30日までの29日間にわたり開催され、平成25年度一般会計をはじめ各会計決算認定13件、人事案件2件、条例案件7件、平成26年度補正予算案件8件、その他案件7件、意見書9件、請願1件の計47件が慎重審議されました。また、報告事項として財政の健全化状況、信楽高原鐵道、あいコムこうかの経営状況等9件の報告がありました。その主な内容は次の通りです。



## 平成25年度決算

- ◆一般会計歳入歳出決算（賛成多数で認定）
- ◆国民健康保険特別会計歳入歳出決算（賛成多数で認定）
- ◆後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算（賛成多数で認定）
- ◆介護保険特別会計歳入歳出決算（賛成多数で認定）
- ◆公共下水道事業特別会計歳入歳出決算（全員賛成で認定）
- ◆農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算（全員賛成で認定）
- ◆土地取得事業特別会計歳入歳出決算

## 野洲川基幹水利施設管理事業特別会計歳入歳出決算

- ◆野洲川基幹水利施設管理事業特別会計歳入歳出決算（全員賛成で認定）
- ◆浄化槽管理事業特別会計歳入歳出決算（全員賛成で認定）
- ◆病院事業会計決算（全員賛成で認定）
- ◆水道事業会計決算（全員賛成で認定）
- ◆診療所事業会計決算（全員賛成で認定）
- ◆介護老人保健施設事業会計決算（全員賛成で認定）

## 条例

- ◆子ども・子育て支援新制度実施に向けて3つの条例新制定
- ◆家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例（賛成多数で可決）
- ◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（賛成多数で可決）
- ◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（全員賛成で可決）

## 税条例等の一部改正

- ◆福祉医療費助成条例及び福祉事務所条例の一部改正（賛成多数で可決）
- ◆市営住宅条例の一部改正（全員賛成で可決）
- ◆公民館条例の一部改正（全員賛成で可決）

## 人事

- ◆人権擁護委員の推薦  
八里 良子氏  
（甲南町森尻）  
村木 すみ子氏  
（土山町黒川）  
（全員賛成にて適任）

## 平成26年度補正予算

- ◆一般会計補正予算（第3号）  
小中学校の屋内運動場の非構造部材耐震化事業はじめ6億1,657万8千円を追加するもの。  
※主な補正内容は別表のとおりです。
- ◆国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ◆後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ◆介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ◆公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

## 懲罰

- ◆農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
- ◆土地取得事業特別会計補正予算（第1号）
- ◆病院事業会計補正予算（第1号）  
（以上8件全員賛成で可決）
- ◆6月の定例会において継続審査となっていました竹若茂國議員に対し、「陳謝の懲罰を科す」とについて  
（賛成多数で可決）

# 議会で審議したもの

## 平成26年度一般会計補正予算（第3号）の主な内容

（金額単位：千円）

補正予算の主な歳出項目	歳出金額
○コミュニティ推進基金の積立（自治振興交付金財源として毎年、前年度市民税の3%分を基金として積立てる。）	169,000
○放課後児童クラブの施設改修等の費用（来年度から児童クラブの利用対象を小学6年生までに拡充するための既存施設の改修費用）	56,082
○水痘予防接種と高齢者肺炎球菌ワクチン接種の追加費用（平成26年10月の予防接種法施行令改正に伴う追加費用）	52,572
○保育体制強化事業実施費用（私立保育園において保育士の負担軽減を図るため地域住民や子育て経験者を保育支援者として配置する費用）	4,497
○小・中学校非構造部材耐震化事業の実施費用（国の学校施設環境改善交付金の追加採択に伴い、小中学校の屋内運動場【体育館等】の天井や照明など非構造部材の耐震化を実施する費用）	252,950
○信楽公民館田代分館の解体費用	13,110

※補正後の予算総額：36,023,156千円

### 訴えの提起

◆市営住宅の居所不明入居者に対し住宅の明渡しと未納となつている住宅使用料等の請求  
（全員賛成で可決）

### 契約の変更

◆信楽高原鐵道復旧工事において、より安全性を高めるため請負契約額を3,129万円の増額変更  
（全員賛成で可決）

### 財産の取得

◆消防団消防ポンプ自動車（3台）購入金額5,832万円

◆消防団消防積載車（12台）購入金額2,721万6千円  
（以上2件全員賛成で可決）

### 財産の処分

◆水口町三天寺字大泓990番地の土地（地積2,552㎡、地目墓地）を宗教法人円光寺に無償譲渡

◆甲賀市泉集会所の土地（地積115.43㎡、地目宅地）を地縁団体水口町泉区に無償譲渡  
（以上2件全員賛成で可決）

### 請願

◆手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書  
（全員賛成で採択）

### 議会への報告事項

◆9月議会では甲賀市の財政の健全化を示す諸比率や信楽高原鐵道（株）等の経営状況など9件が議会に報告されました。

● 財政の健全化判断比率、資金不足比率の報告

※甲賀市の財政は着実に健全化が図れています。

● 信楽高原鐵道（株）の経営状況の報告

● 土山町緑のふるさと振興会の経営状況の報告

● 甲賀創健文化振興事業団の経営状況の報告  
● あいの土山文化体育振興会の経営状況の報告

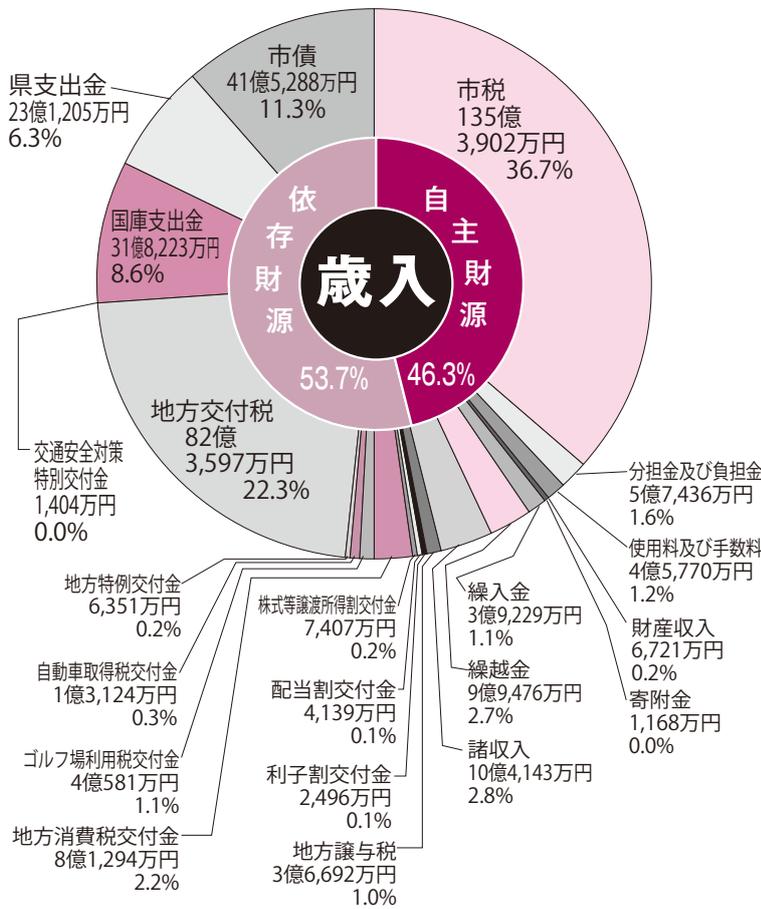
● （株）あいコムこうかの経営状況の報告  
● 滋賀県市町土地開発公社の清算報告  
● 交通事故の和解・賠償の報告が2件

## 意見書の可否

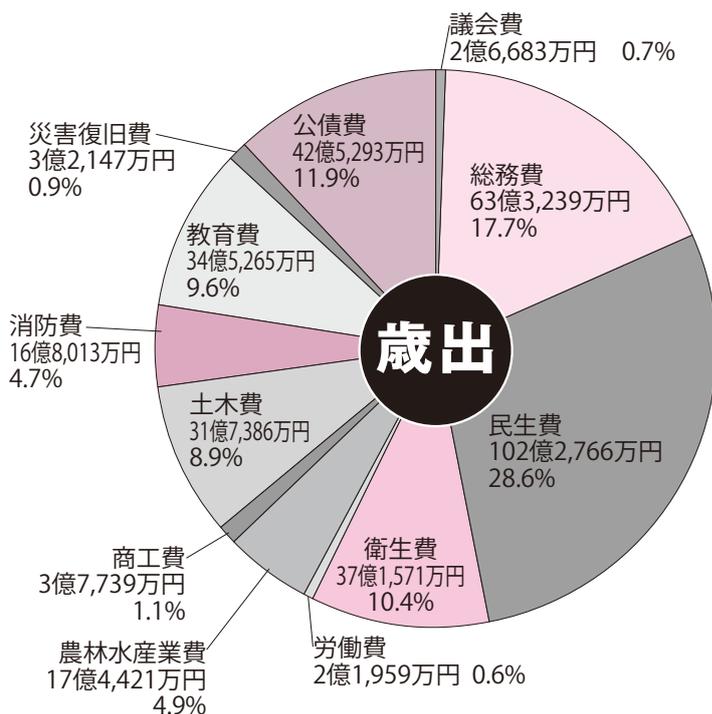
○：賛成 ●：反対

議案名	提案者	討論		清風クラブ	市民クラブ	公明党	日本共産党	無所属(谷水)	無所属(竹村)	可否
		賛成	反対							
災害に備えた河川整備の着実な推進を求める意見書の提出について	橋本(恒)	討論なし		○	○	○	○	○	○	可決
介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書の提出について	戎脇	討論なし		○	○	○	○	○	○	可決
「海外で戦争する国」にする集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める意見書の提出について	安井	竹村小西	田中(將)服部	●	○	●	○	●	○	否決
米軍輸送機オスプレイの訓練の全国移転に反対することを求める意見書の提出について	小西	安井	土山小河	●	●	●	○	●	○	否決
米価下落の緊急対策を求める意見書の提出について	山岡	討論なし		○	○	○	○	○	○	可決
土砂災害危険区域の抜本的な対策を求める意見書の提出について	山岡	討論なし		○	○	○	○	○	○	可決
奨学金制度の充実を求める意見書の提出について	加藤	竹村安井	討論なし	○	○	○	○	○	○	可決
「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書の提出について	田中(將)	討論なし		○	○	○	○	○	○	可決
手話言語法制定を求める意見書の提出について	民生常任委員長土山	討論なし		○	○	○	○	○	○	可決

**歳入◎368億9,655万3,821円**



**歳出◎357億6,487万5,871円**



**平成25年度 一般会計決算**

**収納状況・予算執行について集中審査**

平成25年度一般会計歳入歳出の決算認定を求める議案は、決算特別委員会に付託され、9月18日から4日間にわたり、収納状況や予算執行にあたっての問題点、今後の市政に生かすべき

課題等について慎重に審査しました。また、国民健康保険特別会計など8の特別会計と4の企業会計決算は、それぞれ所管する常任委員会に付託されました。



# 議会に報告を受けた財政諸指数

## ◆財政力指数◆

区 分	基準財政収入額 (千円)	基準財政需要額 (千円)	財政力指数
平成25年度	11,847,783	15,880,670	0.75
平成24年度	11,687,797	15,730,316	0.75
平成23年度	11,865,686	15,836,062	0.76

財政力指数は財政力を示す指標であり、「1」に近くあるいは「1」を超えるほど財源に余裕があるものとされ、「1」を超えると普通交付税の不交付団体となる。

$$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \text{の3ヶ年の平均値}$$

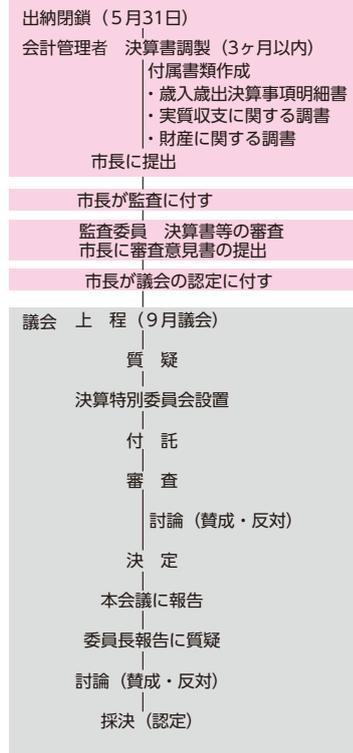
## ◆実質公債費比率◆

区 分	平成25年度	平成24年度	平成23年度
実質公債費比率	11.8%	13.1%	14.8%

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{実質公債費A(地方債元利償還金+準元利償還金)} - (\text{Aに充てられる特定財源及び普通交付税算入額})}{\text{標準財政規模} - \text{A} \text{にかかる普通交付税算入額}}$$

実質公債費比率は公債費による財政負担の程度を客観的に示す指数であり、実質的な公債費に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める割合を表し、前3年度の平均値を使用している。この比率が18%以上であれば地方債の発行に許可を要し、25%以上ではその区分に応じて起債の制限を受ける。

## 決算認定に至るまで



## 決算特別委員会委員

○委員長 ○副委員長

- 橋本律子
- 加藤和孝
- 辻 重治
- 土山定信
- 山岡光広
- 森嶋克己
- 谷永兼二
- 橋本恒典
- 片山 修
- 山中善治
- 小河文人
- 田中将之

## ◆基金の状況

(単位：千円)

区 分	平成24年度末 現在高 A	平成25年度 積立 B	平成25年度 取崩 C	平成25年度末 現在高 D=A+B-C
財政調整基金	2,882,509	502,343		3,384,852
財政調整基金(新名神緑地管理分)	13,178		675	12,503
減債基金	536,931			536,931
福祉基金	277,008	855	50	277,813
教育振興基金	567,507	2,140	1,600	568,047
文化振興基金	145,902	414	1,013	145,303
公共施設等整備基金	973,465	183,896		1,157,361
住みよさと活気あふれるまちづくり基金	3,866,340	8,164		3,874,504
あい甲賀ふるさと応援基金	2,597	3,106	2,383	3,320
移譲施設整備基金	18,811	20	7,439	11,392
コミュニティ推進基金	178,243	168,302	166,023	180,522
図書館振興北村昭三基金	262,604	450	10,000	253,054
鉄道施設基金	840,996	2,205	40,641	802,560
その他特定目的基金	406,503	761	34,881	372,383
計	10,972,594	872,656	264,705	11,580,545
土地開発基金(現金)	492,150		303,500	188,650

## ◆特別会計・企業会計歳入歳出決算状況

(単位：千円・%)

区 分	歳入		歳出		
	決算額	収入率	決算額	執行率	
特別会計	国民健康保険	9,631,836	103.0	8,666,068	92.7
	後期高齢者医療	1,683,972	99.6	1,670,367	98.8
	介護保険	5,615,289	100.0	5,509,781	98.1
	公共下水道事業	3,345,894	96.7	3,280,197	94.8
	農業集落排水事業	762,789	83.5	740,163	81.1
	土地取得事業	6,133	127.5	4,098	85.2
	野洲川基幹水利施設管理事業	19,899	99.4	19,890	99.4
	浄化槽管理事業	255,800	98.1	223,267	85.6
	特別会計合計	21,321,616	100.0	20,113,834	94.4
	企業会計	病院事業	829,758	-	886,589
水道事業		3,481,464	-	3,875,699	-
診療所事業		218,762	-	204,475	-
介護老人保健施設事業		316,018	-	292,380	-
企業会計合計	4,846,003	-	5,259,145	-	

# 予算執行と財政運営を審査

## 主な審査内容

### ■市長直轄

**問** H Pのアフセス解析とその活用は。新聞を取られていない家庭への広報紙の配布は。

**答** 平成25年度全体で56万3321件、月平均4万6千件。

新聞購読以外の広報の配布に関しては、希望者に2号分を月1回郵送しているが、全ての方への対応は難しい。

**問** 防災倉庫の設置は。

**答** 甲南地域未設置の5か所に設置した。



防災拠点としての水口交流センター

### ■総合政策部

**問** あいコムこうかの貸付金5億円に対しての利子0.28%の根拠は。

**答** 長期プライムレートの20%相当分140万円の利子を受けている。

**問** コミバスについて、県からの補助金4000万円。本市と業者の委託関係は。

**答** 道路運送法第4条の免許を所持している事業者と契約、経常経費から運行欠損額を補助金として支出、2億4924万円を補助している。

**問** 土地台帳の整理状況について、不明土地は。

**答** 現在進行中であり、2004筆の不明土地があり判明しやすい宅地、農地、雑種地から重点的に隣接者として



市道西中野線、柞原地先

### ■会計課所管

を確認したい。

**問** コンビニ収納、市民センターや本庁の窓口収納についての手数料の取扱いは。

**答** 平成23年度からコンビニ収納を開始、全体で5万6116件、1件当たり56円と消費税の支払いと、基本料として年間12万円を収納業務として滋賀銀行に支払っている。また、納付書支払は21円、口座振替は10円の手数料である。

**問** ごみの収集に10億円近く支出されているが、量や距離などのチェックを行ったのか

**答** ごみの量について

は、衛生センターで随時計量、年間集計を割出している。ごみの量は大幅に増えてはいない。

**問** 地域安全対策費の防犯灯の電気料金の1676万円の各町の内訳は。

**答** 市が支払っている防犯灯は、水口町635万円、土山町101万4千円、甲賀町739万7千円、甲南町97万5千円、信楽町102万9千円。また区が所有しているものについては、自治振興交付金の中に算定している。

**問** 電気使用量の削減で、公共施設においてデマンド制御が効果的、その成果・考え方は。

**答** 学校など夏休みは使用しない、市役所も窓口業務は除外、出来る範囲の中でデマンドを進めていくよう関連機関と連携をしている。

**問** 再生エネルギーに

関して、小水力発電の実証実験に補助されているが。

**答** 現在稼働中の大野自治振興会の小水力発電、水口テクノスが廃油を使って再生燃料の実証実験を行っている。

**問** 特定不妊治療費補助が36人、不育症治療費補助が1人という数字はもつと増えてよいはずであるが、予算決算の差も大きい。夫婦間や親子間で心を開いて話せないデリケートな問題なので広報の充実が必要であると考えが。

**問** 不妊治療は県補助を受けている。不育治療とは妊娠はするが流産を繰り返す方に対するもので、治療費60万とし、半分を予算計上した。今後広報を通じて利用促進に努める。

**問** 昭和50年前後に土山町で開発された団地を公共計画区域から浄化槽区域に切り替え、信楽では計画区域の小原学区、認可区域の神山、江田の一部地域についても浄化槽の方向へ転換したい。

**問** 鳥獣害対策について防護柵はシカ、イノシシには効果があるが、サルの対策は。

**答** 現在、甲賀D群が100頭あまり、甲賀B群も含め全頭捕獲の為、餌付けをしている。

**問** 住宅リフォーム

第2回 信楽まちなか芸術祭



第2回 信楽まちなか芸術祭

# 総合計画の実現に向けた

ムの募集は年々増加、今後の考えは。

**答** 緊急経済対策として当初から5年間の計画である。雇用増加、所得増に結びついていくのか今後調査していく。

**問** シルバー人材センター支援事業が民業圧迫にならないか。

**答** 主に草刈、清掃と施設管理である。補助団体に公がというが、高齢者の雇用機会の提供。民間事業者に対してもう少し考えたい。

**問** 重点事業である甲賀野菜の生産拡大についてもう少し拡大の手立てはなかったのか。

**答** 推進はしているが、



復旧工事中の信楽高原鐵道  
仙川鉄橋

結果的にはそこまできず反省している。

**問** 単独間伐対策事業について、再生エネルギーなど有効活用は出来ないか。

**答** 再生エネルギー対策として間伐は行っていないが、木質バイオとしての利用も図るよう取り組みたい。

**問** 市道維持管理経費の道路パトロール方法は。

**答** 幹線道路と生活道路を毎日パトロールを実施、河川の管理道路が市道に認定されているので、台風時など、パトロールに出向いている。

**問** (仮称) 甲賀北地区土地利用調査検討業務委託は、当初800万円の予算で、79万円で落札されたが適性か。

**答** 検査員からも仕様書、設計書通りされていると確認した。26年度も25年度同様の業者



耐震補強された甲南第二小学校  
屋内運動場

が落札している。

**問** 教育委員会事務局が市民には見えてこないが、その成果は。

**答** 教育研究所は学力向上の取組やモデル校などの事業に取り組んでいる。成果についてはご指摘を踏まえ、学校だけでなく保護者にも成果を見える様検討したい。

**問** 文化財保護費において岡山城関連で1317万円、この事業の目標とするところはどこか。

**答** 平成28年度に国の史跡指定、その後歴史型文化公園を目指している。

**問** 給食費の滞納について

の考えは。

**答** 学校を通じて直接電話で対応している。悪質な滞納者については法的措置も検討する。

**問** 教員住宅の今後の方針は。

**答** 今後の教員住宅の必要性は無いと考えている。また解体も視野に入れていく。

**委員長総括**  
総括質疑の中で、平成25年度決算審議の主なものが、台風18号の災害復旧に要因するものが多くありました。また、部局別説明では課題、次年度に向けた取組方針が示されました。本審査の質疑、並びに意見、提案等27年度の予算に反映すると報告がありました。

**反対討論**  
予算規模全体という342億円の当初予算に対して350億円を超える決算になったが、その要因は災害につき個人市民税が増え

たということだが、市民全体の懐が温かくなっていない。地方交付税の補てんはあるが、自主財源をいかに増やすかということが大事、どこに課題があるのか、どう伸ばしていくのか検討すべきである。

**賛成討論**  
経費削減、職員給与の削減等、全体として歳入に見合った歳出の徹底がなされた。市債の新規発行の抑制やプライマリーバランスの黒字化により、財政健全化判断指標においても改善が図られた。取組向上対策についてもチャレンジ25プランにより一定の成果を上げた部分も評価したい。引き続き行財政改革に取り組み、合併したメリットが十分発揮できるように臨みたい。

**現地調査**  
消防施設整備事業で甲南町希望ヶ丘小学校に配備した防災倉庫の

現地視察をしました。カセットガス発電機をはじめブルーシート、簡易トイレ、カセットコンロ、非常食などを確認しました。委員からは、備蓄されている資機材について具体的な質問がされました。再生可能エネルギー地域導入促進事業補助で、土山町大野地域自治振興会が同町前野の御泉場に設置した小水力発電機の現地調査を行いました。自然の水量を活用し、発電機を設置し得た電力をLEDライトに使用し、今後は獣害防護策に活用できるよう増設する計画です。



新築された防災倉庫 (希望ヶ丘小学校)

総務常任委員会

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。

付託議案

平成25年度特別会計決算1件、  
税条例改正案1件を慎重審査

当常任委員会では、9月25日に委員会を開催し、付託された議案2件につき慎重に審査しました。

◆平成25年度甲賀市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるところについて

(本条例は、公有財産の先行取得をはかるための会計です。)

●歳入総額 613万3789円  
●歳出総額 409万8834円

本会計で所有する土地にかかる価格の見直し時期・未利用地等への取り組みを促進するようにとの意見ができました。

採決の結果、全員賛成により原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

◆甲賀市税条例の一部

法人の区分 (資本金等の額)	現行	改正後	引下げ率
1億円を超える法人	13.7%	12.1%	△1.6%
1億円以下の法人	13.7%	11.1%	△2.6%

を改正する条例の制定について

改正内容は、1億円を超える法人につき現行13.7%を12.1%に、また1億円以下の法人現行13.7%を11.1%にそれぞれ引き下げられるもの、この改正における法人市民税減収分は約

1億6000万円となります。

軽自動車税は、過去30年間にわたり見直しが高性能化が進む中、車体課税の見直し及び負担の公平の観点から負担水準の適正化を図るものです。

質疑として

問 法人市民税の減免措置はあるのか。

答 法人市民税の減免対象となっているのは25年度14件で、特定非営利法人が主なものである。

問 市の判断で決めることにより、今回の変更理由を市民にどう伝えていくか。

答 市民への説明にあたっては、課税をめぐる環境のこと等を入れた中で説明していきたい。

等がありました。

反対討論

物価も上がり厳しい情勢の中、法人市民税の改正について反対である。また、消費税の上がる中、軽自動車税の増税は、市民が二重の負担を強いられる。

賛成討論

今回の法人市民税については妥当な数字である。また、軽自動車税も新車購入時からの経過措置の増税であり自動車取得税の代替えとしてのバランスと考

採択の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

行政視察

予約型乗合タクシー事業・フェイスブックによる情報発信について先進地に学ぶ

八女市視察研修

ています。

\*福岡県八女市は合併後、市内を11エリアに分け、路線バスが通らない地域への対策として、登録制の予約型乗合タクシーを導入し、慣れ親しんだ地域で、買い物や通院ができるよう運行。希望の時間に予約すれば、自宅近くまで迎えに行き、通院目的で利用しても帰りには買い物をして帰るといった具合に、気軽に外出を支援する仕組みです。

武雄市視察研修

佐賀県武雄市は2011年2月にフェイスブックページを開設し、市の公式ホームページを完全にフェイスブックに移行するなど、情報発信において最先端を走っています。フェイスブック移行の目的は、市の活動や施策・災害発生状況などの素早い情報を発信することです。

また、行政の透明性や職員のモチベーションの向上などにつながっています。



武雄市視察研修

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。

# 民生常任委員会

## 付託議案

# 平成25年度特別会計決算3件、 企業会計3件・新規条例1件 請願1件を慎重審査

当常任委員会は9月25日に委員会を開催し、付託された議案7件、請願1件について慎重に審査しました。

### 特別会計

◆平成25年度甲賀市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

保険給付費を少しでも抑えるために、ジェネリック医薬品の普及及び特定健診の受診率を上げる対策を中心に質疑しました。今後の更なる対応も申し入れました。

◆平成25年度甲賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

高齢世帯や一人暮らし世帯が増加している中、滋賀県後期高齢者医療広域連合と連携

し、市民の側に立った親切的対応を求めました。

◆平成25年度甲賀市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

介護予防の取り組みや入所待機者数、認定率等を質疑。来年度に予定されている第6期事業計画に向けて行われた、ニーズ調査などの説明を受けました。以上3件、採決の結果、賛成多数で認定するべきものと決定しました。

### 企業会計

◆平成25年度甲賀市病院事業会計決算の認定

を求めることについて

本会計は信楽中央病院会計で、収益的収入は5.9%増、支出は0.07%減で、リハビリテーション科の新設などの説明を受けました。

◆平成25年度甲賀市診療所事業会計決算の認定を求めることについて

本会計は水口診療所会計で、収益的収入は10%増、支出は8%減で医師確保等について質疑を行いました。

◆平成25年度甲賀市介護老人保健施設事業会計決算の認定を求めることについて

本会計はケアセンターささゆりの会計で

### 条例

◆甲賀市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

子ども、子育て支援3法にまつわる新規条例であり、甲賀市独自の児童クラブ条例との対応の質疑、各条文の精査、設備、運営が子どもたちのためになるのかの観点で審査しました。採決の結果、全員賛成で可決すべきものと決定しました。

### 請願

◆請願 手話言語法制定を求める意見書の提

出を求める請願書について  
本請願の審査にあたっては委員会協議会

に切り替え、請願者である「甲賀市聴覚障害者協会」の方より趣旨説明を受けました。手話を言語として法律で明確化すべく国に意見書を提出してほしいとのことでした。委員会再開後討論、採決を行い、全員賛成で可決すべきものと決定しました。



### 現地調査

7月30日に開催された委員会では、新しく開業されたグループホーム2ヶ所の現地調査を行い、運営について説明を受けました。



グループホームみなくち

文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

付託議案

子ども子育て支援制度における  
新規条例2件を慎重審査

当常任委員会は、9月25日に委員会を開催し、付託された「甲賀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」並びに「甲賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」の制定2議案について、慎重に審査しました。

この新規条例は、幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、地域の子ども、子育て支援の充実を目的とした法律が成立したことを受けて定めるものです。

◆甲賀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について

児童福祉法の規定に基づき、家庭的保育事業等の設備及び運営に関し、必要な事項を定め、利用する乳幼児が、明るくて、衛生的な環境において、心身ともに健やかに育成されるよう努める旨を規定されています。

新制度では、家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業があります。

小規模保育では、保育士資格のない人が保育することを認める基準が示されています。

◆甲賀市特定教育・保育施設及び特定地域型



保育事業の運営に関する基準を定める条例について

子ども・子育て支援法に基づき、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者の、適切な内容及び水準の一般原則を規定されるもので、教育・保育の提供、管理運営、利用基準などです。

2条例とも、市町村が運営の確認を行うこととなります。

共通した主な質疑

問 保育に要した費用は、国等が負担するのか。

答 市町村の確認を受けた施設・事業に対して財政支援があるが、

国の定めた基準となる。

問 利用者の負担額は現状と変わるのか。

答 公定価格が国の定める基準により算定され、基準額の範囲内で市町村が定めるもので、変更があるが現行と大きく変わらない。

問 市が運営の確認を行うのは、どのように行うのか。

答 設置者からの申請書記載事項を確認し、評価結果や苦情等に速やかな対応のため勧告や、立入検査などを考えている。

全ての子どもが健やかに成長するために適切な環境が等しく確保され、さらに、子どもの意思及び人格を尊重し、地域と家庭との結びつきを重視した運営と必要な体制整備が求められる。

本委員会において、他にも活発な質疑が行われ、本議案について

は討論はなく、採決の結果、全員賛成にて2議案とも、原案のとおり

り可決すべきものと決まりました。

所管事務調査

屋内運動場耐震補強工事など調査

8月26日土山中学校で行われている屋内運動場の耐震補強工事について現地調査をしました。また、「甲賀市いじめ防止基本方針（案）」についても調査しました。

甲賀市いじめ防止基本方針（案）

甲賀市いじめ防止条例に基づき策定される基本方針について調査を行いました。

この方針は次代を担う全ての子どもたちにとつて安心安全で、豊かな学びが提供できる学校づくりの主眼において策定されるものです。

質疑では、地域や保護者への広報や学習会、小中連携や専門学校の扱いなどがあり、学校やPTAを中心に啓発を行い、それぞれ情報共有を行って

いくとの説明を受けました。また甲賀市の独自性に関しては、被害者救済が第一、子どもたち自らが防止に加わることが特徴とのことでした。

土山中学校屋内運動場耐震補強工事

屋根撤去・新設、外壁改修防水、内部改修工事について調査しました。



土山中学校

## 産業建設常任委員会

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です。

### 付託議案

# 平成25年度特別会計決算4件、 企業会計決算1件を慎重審査

当常任委員会は9月25日に委員会を開催し、平成25年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算など、付託された5件の案件について慎重に審査しました。

#### ◆平成25年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

平成25年度の主な事業は、公共下水道では新城地区外整備工事、特定環境保全公共下水道では水口台地区や池田地区等の整備工事などです。

主な質疑では不納欠損について質問があった他、平成25年度



に設置されたお客様センターの評価について質問がありました。

#### ◆平成25年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

平成25年度の主な事業は平成25年6月に一部供用開始された朝宮地区の管路整備等と、25ヶ所の処理場および管路とマンホールポンプの維持管理などです。

主な質疑では過年度の収入未済における不納欠損や損害賠償金等についての質問があったほか、公共下水道への接続の計画についての質問が出されました。

#### ◆平成25年度野洲川基

幹水利施設管理事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

本特別会計は野洲川の基幹水利である野洲川ダムと水口頭首工にかかる施設管理を行うための予算で、歳入は県補助金及び関係5市の負担金、歳出は管理業務委託、保守・点検業務委託などです。

主な質疑では野洲川ダム堆砂測量業務委託の結果についての質問がありました。

◆平成25年度水道事業会計決算の認定を求めることについて

平成25年度は岩室浄水場築造工事、虫生野配水池築造工事に伴う管理用道路及び送配水管工事などが行われました。

主な質疑では大口事業者における使用水量の低下について質問があった他、有収率や水道料金についても質問がありました。

以上5件について慎重に審査し、採決の結果、全員賛成により原案どおり認定すべきものと決定しました。

### 所管事務調査

# 台風18号災害の 復旧状況について確認

当常任委員会は7月22日に委員会を開催し、昨年9月の台風18号災害の復旧状況などについて所管事務調査を行いました。

台風18号災害では市内の多くの道路や河川、農地やため池、林道などが被災し、その復旧工事が進められてきました。

建設部所管の市道や河川等では、国庫補助事業の繰越事業を含みほぼ完了しています。

産業経済部所管では茶園復旧等の国庫補助事業は7件中6件が完了、市単独事業では申請のあった452件の内、今年6月末では433件が完了、また、森林組合所管の林道復旧事業で、残り49路線が年度内完了に向け工事中とのことでした。

委員会ではこの他、



市道平海野線の復旧状況を現地視察

今年5月に発覚した下水道使用料賦課漏れ、屋外広告物条例のパブリックコメント結果やため池診断結果に基づくハザードマップ等についても調査を行いました。

18人の議員が

## 市の考えを問う

一般質問

## 平成26年 第5回甲賀市議会定例会一般質問

平成26年9月11日・12日・16日

順番	氏名	質問事項
1	竹村 貞男	1 学校教育に関わる諸問題について
		2 全国体力テスト（小5、中2）の結果について
		3 老朽水道管等のインフラ（社会基盤）整備について
2	田中 実	1 下水道事業の整備・普及について
		2 地域要望への対応並びに区長から見える職員への指導について
3	片山 修	1 「熱中症」対策について
		2 子どもの「スマホ」の適正な使用について
4	小河 文人	1 市営住宅の現状と募集状況と使用料滞納について
		2 教育現場における不登校児童及び生徒の対策について
		3 地域特産品を生かした地域振興策について
5	白坂萬里子	1 「公共施設等総合管理計画」について
		2 「ふるさと納税の推進」について
		3 「高齢者詐欺被害対策」について
6	田中 將之	1 しがらきニュータウン内道路の市道認定について
		2 市内の空き家対策と空き家バンクの創設について
		3 犬猫の殺処分ゼロについて
7	林田 久充	1 甲賀市の行政改革の取り組みについて
		2 工業団地内企業と周辺地域との問題解決について
8	加藤 和孝	1 災害に強いまちづくりについて
		2 消費者教育の充実について
		3 脳ドック検診費用の助成制度導入について
		4 学校司書の法制化後の対応について
9	山岡 光広	1 子どもたちが安心して学べる教育環境の公的整備・修繕について
		2 臨時・非常勤職員の待遇改善へ
		3 J R 甲南駅の窓口業務の制限は早急に改善すべき
		4 医療的ケアが必要な子どもの通学保障、県の実証研究に甲賀市として参加すべき
		5 甲賀広域営農団地農道「南柚トンネル」の道路照明改善を

順番	氏名	質問事項
10	橋本 恒典	1 保育環境の充実について
		2 青少年の文化活動の推進について
11	戎脇 浩	1 あいこうか岡山城プロジェクトの現状と今後
12	的場 計利	1 コミュニティバス運行に効率的な路線設定とダイヤ編成を
		2 コミュニティバス運行支援に対する県補助金について
		3 全国学力テスト結果公表を受けて
13	安井 直明	1 米価暴落と安倍内閣の農協・農業委員会つぶしは許せない、所見を問う
		2 知事選の結果と甲賀市の独自施策を県制度に
		3 新年度から小中学校にエアコン設置を
		4 岡山城発掘調査と登山道等の整備について
		5 新年度に向け通行可能な岩上橋に修復を
14	小西喜次次	1 安倍内閣の集団的自衛権行使容認のもとで、強まる自衛官募集について
		2 昨年の台風18号被災地域の復旧状況、防災対策は万全か
		3 なぜ、信楽町勅旨地域はコミュニティバスのバス停がないのか。早急に改善すべき
		4 コミュニティバスの改善について
		5 甲賀市結婚相談事業について
15	山中 善治	1 (仮称) 甲賀市中小企業振興基本条例と協働について
16	森田 久生	1 「甲賀市新名神高速道路活用戦略」の着実な実行に向けて
17	竹若 茂國	1 市制10周年、合併後10年の総括と甲賀市の未来について
		2 地域情報基盤整備に係る音声放送端末機の放送について
18	中西弥兵衛	1 次期「甲賀市総合計画」策定に向けての基本方針と仕組みづくりを問う
		2 本市における雇用の情勢と進出企業における就労率の現況はどうか
		3 信楽高校存続に向けての本市の取り組み姿勢を問う



## 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

竹村 貞男

Q 全国学力テストの公表は

A 学校ごとの結果の公表は行わない



問 甲賀市の小中学校の耐震化率は。

教育部長 平成26年4月現在で96・7%。

問 非構造部材耐震化の取り組みは。

教育部長 本年度から工事に着手する。

問 児童生徒の個人情報管理についてどう。

教育長 「甲賀市情報セキュリティポリシー」に基づき、個人情報

の取り扱いは、個人

情報に基き、個人

情報の取り扱い等その

確かな運用を図ってい

る。

問 学校司書の配置状況と来年度以降の計画は。

教育部長 5人の学校司書を採用し、市内23

小学校を巡回する体制を取っている。勤務時間については昨年度の

一日3時間から、今年度は5時間に増やし対応している。中学校に

ついても来年度以降巡回で

きるように検討している。

問 義務教育課程の区切りをどうするのか。

教育長 「小中一貫教育校」を

視野に入れた

新しい義務教育をめざすモデル校づくりに向け、その区切りも

含め先行地域の調査研究を行っている。

問 水道管等の耐用年数は。

上下水道部長 38年。

問 甲賀市で耐用年数を超えているのは

何%か。

上下水道部長 約26%で全体の約2.9%。

問 水道用の石綿セメント管使用の現状は。



土山中学校屋内運動場 耐震補強工事

実 Q 地域要望への対応状況は

A 誠意ある対応、早期回答に努力



問 市内200区、自治会からの要望事項のここ5年間の件数は。

総合政策部長

平成25年度753件、平成24年度684件、平成23年度818件、平成22年度670件、平成21年度639件。

問 要望書が提出された場合どのような流れで対応、処理されるのか。

総合政策部長 地域コミュニティ推進室が総合窓口となり、まず所

管課へ割り振り、所管課では現地調査等の状

況把握を踏まえ、必要性や実施の可能性等を

検討した上で回答書を作成。

問 要望書の回答が相

当遅いケースもあると

聞くと、最短、並びに最

長の所要日数は。

総合政策部長 最短の所要日数では、道路補修などの小修繕に

関し、事前連絡もあつたことから一週間余りの回答。また、最長

では道路整備並びに交通安全対策関係に係る

要望について、一年近く要した場合もある。

問 下水道使用料の賦課漏れの原因と対象者の対応は

上下水道部長 賦課漏れの発見が多かつた旧水口町で

少数人数体制で経験浅い職員が事務処理に

追われ入力と

チェック体制の不備が主原因。対象者の対応は、対象者宅を訪問し、

賦課漏れ原因説明とお詫びを行い、納入方法などの協議を重ね、

87% 120名、金額にして請求分全体の

91・5%の了承が得られた。

問 下水道使用料の賦課漏れの原因と対象者の対応は

上下水道部長 賦課漏れの発見が多かつた旧水口町で



自治会からの要望書の一部

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

修

片山

Q

早めの熱中症予防策は

A

予防・対処の普及啓発を図る



**問** 本市における熱中症による救急搬送の人数等は。

**健康福祉部長** 6月の搬送者数は7人、7月25人、8月16人、7月の年齢別では、13歳以上40歳未満が8人、40歳以上65歳未満6人、65歳以上75歳未満が3人、75歳以上が8人と高齢者が多い状況である。

**問** 温度計を付けたポスターの作成と配布は。

**健康福祉部長** 健康教室・介護予防教室・出前講座等で説明。高齢者には、パンフレットを配布して予防に対する周知・啓発を繰り返し実施することを一番に考えていく。

**問** 夏場の訪問・見守

り活動は。

**健康福祉部長** 介護保険や障害者の事業所等の協力を得ながら、実地ある活動にしている。

**問** 児童生徒のスマホの利用状況の把握及び調査は。

**教育部長** 携帯電話を所持している児童は43・4%、中学校では1年42・6%、2年42・7%、3年50・7%。定期的な調査の実施を、各学校に働きかけていく。

**問** 保護者や教育関係者を対象にしたセミナーの開催は。

**教育部長** 教職員の研究会や保護者・親子研修会等も多く取り組んでいる。

**問** 夜間のスマホ使用制限は。

**教育長** 市としては、スマホの使用制限を行う事は考えていないが、教育現場への指導を強めていく。

熱中症の予防法



文人 小河

Q

本市の地域資源活用の振興策は

A

産業全般の振興に繋げていきたい



**問** 本市には甲賀の酒、甲賀のお茶、信楽焼、干瓢など地域産業資源に指定されている特産品があり、これらを組み合わせ地域産品の魅力を発信していく必要があるが。

**産業経済部長** 市内産品をコラボし、新しいビジネスモデルを確立するには市民の理解と支援が必要不可欠と考える。甲賀の酒、甲賀のお茶を信楽の酒器や茶器でおもてなしするなど全国に発信していく事が大切です。全国的に広がるのを見ている乾杯条例の制定をはじめ、今後も地域資源を広く全国に発信していく。



地域産品の展示

業、林業も含め地域市内全般の振興策を考えていく。

**問** 市営住宅家賃滞納について問題点は何処にあるのか。

**建設部長** 住宅料金徴収マニュアルを再整備、新たに公営住宅監理委員を選任し、滞納額が増えていく前に初期対応に重点を置く。過年度分の分納誓約も進めていく。

**問** 甲賀市は小規模事業者が大半を占めてお

り、本市に即した振興策が必要。昨年から要望している条例制定も本市の積極的な研究会の立上げを検討されているが、今後の考えは。

**産業経済部長** 商工会との協議を進め中小規模事業者や観光・農

**教育長** いじめが原因で不登校になった件は25年度0件である。



## 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

白坂 萬里子

Q 公共施設等総合管理計画は

A 平成28年度を目途に策定したい



**問** 人口減少、高齢化の変化も踏まえ、施設全体の最適化を図り、統廃合を視野に入れた「公共施設等総合管理計画」の策定をどのように考えているか。

**総務部長** 全体の状況を把握し、計画的な更新、統廃合、目的や機能の転用、長寿命化などにより、類型ごとの状況調査を実施し、平成28年度を目途として策定していきたい。

**問** ふるさと納税の制度をうまく生かして、実績を上げていく自治体が増えている。PR次第や贈呈品の中味においては、本市に及ぼす財源の確保としてはメリットが大きいのでは。市長の見解と共に本市の実態と今後の取

**市長** 今、巷ではふるさとチョイスが話題になり、特典サービス合戦が過熱している。まずは節度そのものに尽きるところ。本市では、これまでに延べ95件、9,383,810円のご寄付を受けており、5つの目的事業の原資の一部として活用。今後は、あらゆる機会を捉えてPRし、インターネットの有効活用も研究していく。

**問** 高齢者を狙った詐欺被害に歯止めがかかっていない。未然防止の為にさらに工夫ができないものか。

**市民環境部長** 「かもメール」を活用した啓発ハガキを高齢者宅へ配達。又、総合相談を



詐欺防止のラッピングバス

実施するなか、7台の防犯ラッピングバスを走らせているところだ。

田中 將之

Q しがらきニュータウンの市道認定は

A 手法について検討中



しがらきニュータウン内の道路

**問** しがらきニュータウン内道路の市道認定について、六月定例会で地元と協議することだったが、協議をしたのか、その結果は。

**次**に、道路が残地一筆で開発業者から譲り受けたと地元区から聞いているが、分筆等も含めて市として対応できることはないか。

**さらに**、市内には多くの新興住宅地や団地があるが、同ニュータウンのように市道認定されていないところはあるのか。

**現在**、市では世界認証によるセーフコミュニティの取得に取り組んでいるが、同ニュータウンの住民も九万三千の中の市民である。しかし、団地内の生活道路は公道ではなく、維持管理もできていないのが現状。簡易舗装材での簡単な補修程度は可能だが、万が一、昨年のような台風被害で道路が陥没や、崩壊した場合は、何の対策

もしてもらえない。団地内でも高齢化が進み、補修すらできない時期が到来する。セーフコミュニティ取得をめざす市として、市民の安心と安全をめざすためにも、市道認定に向けた努力をしていただきたい。

**建設部長** 分筆等地元負担を軽減できる手法を検討中。でき次第協議する。また市内他の団地では市道認定されていないのは同ニュータウンだけである。

**その他の質問**

- 空家対策と空き家バンク創設について
- 犬猫の殺処分ゼロについて

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

林田 久充

Q 行政改革の取り組み状況は

A 第3次行政改革大綱等を諮問中



加藤 和孝

Q 脳ドック検診の助成制度の導入を

A 脳ドック検診のみについても研究する



問 第2次行政改革大綱の最終年度であるがどのような成果が見えてきたか。

市長 65の補助事業の縮小廃止や59の施設の廃止等を進めた。また市税・料金等収納率を向上させ、未利用、有休財産の売却処分によ

り歳入確保を図った。さらに、組織マネージメント強化や自治振興会の設立や自主防災組織の設立により市民参加の形が進み、自治基

本条例の策定も進めている。

問 第3次行政改革大綱等の策定状況と市民参加の手法はどうか。

総務部長 学識経験者や市民、企業の方の参加による行政改革推進委員会に諮問している。一月には、答申いただく予定である。

問 公開事業評価を新大綱に位置づけ、市民判定員制度等を取



公開事業評価（質疑 応答 議論）

り入れてはどうか。

総務部長 今後の事業評価の運用方法や必要性について公開事業評価の場で提案いただきたいと考えている。

問 工業団地内企業と周辺地域との間で、水質汚濁、騒音、臭気等

住民に迷惑がかかっている場合、行政はどう解決に取り組むのか。

市民環境部長 法律上問題がなくても、住民に迷惑が及んでいる限り改善をお願いしている。

住民の説明会での意見を踏まえた改善計画書を提出いただいている。今後も、根本的原因の究明を図り、関係機関と連携して、問題解決に向け対応する。

問 南海トラフ地震対策基本計画の策定を受け、地域防災計画への反映など本市においても対応が必要では

危機・安全管理統括監 本市の想定最大震度は、中央防災会議では震度6弱で、多くの被害が予想される。南海トラフ地震に関する防災対策推進計画も盛り込んだ地域防災計画の改定作業を進め、本年度中に防災会議で協議・決定いただく予定

である。

問 近年、消費者トラブルが相次いでおり、子どもや若者に対する早期からの消費者教育を充実させることが必要では

市民環境部長 本市でも消費者トラブルによる被害が増加・多様化していることから、トラブルに対する適切な対応力を身につけていただく内容を盛り込んだ消費者教育推進計画の策定を検討する。

消費者教育推進地域協議会についても必要な体制整備に向け努力したい。

問 今日、働き盛りの人の脳梗塞やくも膜下出血などの脳卒中が問題視されている。脳ドック検診の助成制度を導入する考えは

市民環境部長 人間ドックと併せて脳ドックの検査をされた場合、上限2万円の範囲内で助成を行っている。今後、脳ドックの受診啓発に努めるとともに、脳ドックの助成についても研究する。



南海トラフ



消費者トラブル防止啓発チラシ



# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

南杣トンネル



**Q** 南杣トンネルが暗い

**A** LED化も含めて改善したい



**問** 甲賀広域営農団地農道「南杣トンネル」が暗い。調べたら164基の照明器具があるのに点灯しているのは36基だけ。LED化も含めて改善を。

**問** 学校教育施設整備の責任は誰か。  
**市長** 学校施設管理を所管する教育委員会と連携して安全安心の確保に努めている。

**問** 同じクラスで机と椅子が新旧大小バラバラ。トイレが詰まって使用不可。カーテンもボロボロ、改善を。  
**教育部長** 年間予算配分の中で、各学校で対応してもらっている。

**問** それは学校長の責任ではないでしょ。市教委の責任で改善すべき。

**問** J R甲南駅の窓口が6月から制限され不便。J Rに改善を。  
**総合政策部長** 今回のサービス低下は利用者離れになると危惧している。働きかけたい。

**問** 医療的ケアの通学保障について県の実証研究に市として参加すべき。  
**健康福祉部長** 県の説明会が開催されたら、その体制も確認しながら、参加することにはやぶさかではない。

**Q** 保育環境の充実

**A** 保育士の確保が課題



**問** 新制度に伴い市の保育環境はどのように変わるのか。  
**教育長** 新制度では利用者が多様な施設や事業の中から選択できる仕組みとなり、保育環境の拡充・充実に大きく期待している。

**問** 園舎の耐震診断や耐震補強の進捗は。  
**教育長** 簡易耐震診断において耐震強度が不足していると判定された11園について耐震診断調査を実施しており、維持補修工事と併せ計画的な耐震補強工事を実施していく。

**問** エアコン設置の進捗状況は。  
**教育長** これまでに37台を整備、空調設備が必要な保育室への整備は本年度で終了予定。今後、状況に合わせて対応する。

**問** 全国的に保育士不足が課題だが本市の状況は。給与・賃金は他市と比べてどうか。  
**教育部長** 保育士の確保には年間を通して大変苦労している。臨時職員については湖南方面の市と比べると若干低い状況である。

**問** 青少年の文化芸術活動の現状は。  
**全国高等学校総合文化祭ポスター**  
**問** 来年開催される全国高等学校総合文化祭への市の関わりと支援は。  
**教育長** 同大会の郷土芸能の部が来年7月29日から31日まであいこうか市民ホールを主会場に開催予定。市も主催に加わり準備段階から参画しており、最大限の支援に努める。

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



浩 戒協

Q 岡山城プロジェクトの現状と今後は

A 市のランドマークとして活用する



問 日本を代表する童話作家、巖谷小波氏

作詞の水口小学校校歌にも出てくる古城山に「岡山城」という山城が安土桃山期に存在し、歴史上重要な城であったことは事実として明白である。「あ

教育部長

発掘調査を基に27年度に文化庁に具申を行い、28年度秋ごろに可否が示される予定。石垣や瓦が多く出土し、城郭史においても貴重な存在であるので、史跡指定の可能性は十分にある。



市民の力で造られたバルーン岡山城

いこうか岡山城プロジェクト」は重点事業として取り組まれているが、発掘・整備を踏まえて、国の史跡指定は得られるのか。

問 水口岡山城の会のバルーン城の企画は、水口祭、阿迦之宮祭に合わせ絶妙のタイミングで開催されたが、市としての評価は。

総合政策部長 活気あふれる全市的な取り組みを頂いたと認識し、全国ネットのテレビやネット動画など、測り



ランドマークとして、発掘・整備の進む古城山

知れない効果があった

ものと捉えている。

問 みなくち宿を良くする会など市民も整備に向けて活動しているが、市長の事業にかける思いは。

市長 市民の長年の夢である天守の復元に向けて、市民と行政が共に努力をすることが

「幸せ輝く理想郷甲賀」を創造することに繋がると考えている。これだけは是非ともやらせていたいただきたい事業である。

計利 的場

Q 全国学力テストの公表結果は

A 危機感覚えるが、光明も見える



問 県の平均正答率は都道府県別で5科目がワースト5と非常に悪い。甲賀市の結果はどうであったか。

教育長 小中学校とも全国平均、県平均を下回る科目も複数あり、結果は決して満足できるものでなく危機感を覚える。一方で全国平均を上

が必要とある。自らを律し主体的に使える様指導する。



8月26日 毎日新聞より

問 コミバスは市内140系統で運行。残念ながら殆どは空

気を運んでいると揶揄される程利用が少ない。ある地方で「ハブ&スポーク方式」運行で経営改善した会社がある。参考にしてはどうか。

総合政策部長 この方式による路線網の構築は効率もよく全国的に

教育長 文科省通知に学校、地域、家庭が連携しルールづくり

報告されているが。



交通政策審議会資料より バス停留所

## 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

安井 直明

Q 農業委員会つづきはやめよ

A 農業委員会は大切な存在だ



問 米価暴落のうえ、国は農業委員会の公選制や建議などやめようとしているが。

農業委員会会長 地域農業の持続的な発展と農業者の代表機関として評価している。

市長 農業者には市独自の助成制度を進めるとして地域農業の振興と農地の有効利用の活動を行っている。

問 集团的自衛権の閣議決定など国政が影響した知事選結果の評価と、中学校卒業までの医療費無料化等は県制度へ要望せよ。

市長 歯車が狂ってコントロール不能に陥ったのではないかと、医療費は、県内一律の



雑草一杯の散策道

教育長 国の史跡指定を受けるための基礎

問 古城山の遺跡調査期限と目的は。散策道等の除草をせよ。

教育部長 今年度完了予定をしている。

問 新年度には通行できる岩上橋にせよ。

建設部長 主桁に致命的な損傷があり約2億円がかかり本年度中に方針を決定。補助事業等今後の対応を決める。



通行できる岩上橋に

資料を作成と成果結果は資料として見てもらう。

産業経済部長 適正な維持管理に努める。

問 集团的自衛権行使容認の閣議決定に対して撤回を求めるべきではないか。

市長 国政のことであり、市長としての所見は、差し控える。戦わずして世界平和に貢献、行動するのが日本の役割であり、憲法と言う最高法規を守るべきと考えている。

問 自衛官募集案内が市内高校生に送られている。集团的自衛権行使容認のもと自衛隊が海外での戦争で命をなくす事態が現実的となるなかで、自衛官募集のための住民基本台帳の閲覧は拒否すべきではないか。

市長 法令の要件を満たしており、閲覧に当たった。

小西喜代次

Q 信楽町勅旨にもコミバスの運行を

A 現段階では改善の考えはない



問 集团的自衛権行使容認の閣議決定に対して撤回を求めるべきではないか。

市長 国政のことであり、市長としての所見は、差し控える。戦わずして世界平和に貢献、行動するのが日本の役割であり、憲法と言う最高法規を守るべきと考えている。

問 自衛官募集案内が市内高校生に送られている。集团的自衛権行使容認のもと自衛隊が海外での戦争で命をなくす事態が現実的となるなかで、自衛官募集のための住民基本台帳の閲覧は拒否すべきではないか。

市長 法令の要件を満たしており、閲覧に当たった。

問 信楽川の長野地区新町橋付近の浸水対策はどうか。

建設部長 現在浚渫工事を行っている。

問 信楽町勅旨地域にはコミバスの停留所がない。4月からの80歳以上と障害者のバス無料券が利用できる。また、信楽高原鉄道にも無料券拡大を。

総合政策部長 帝産バス、高原鉄道と競合するのでそちらを利便してほしい。高原鉄道への無料券拡大は総合的に判断。

問 信楽川の長野地区新町橋付近の浸水対策はどうか。

建設部長 現在浚渫工事を行っている。

問 信楽町勅旨地域にはコミバスの停留所がない。4月からの80歳以上と障害者のバス無料券が利用できる。また、信楽高原鉄道にも無料券拡大を。

総合政策部長 帝産バス、高原鉄道と競合するのでそちらを利便してほしい。高原鉄道への無料券拡大は総合的に判断。



今年の台風11号で増水の新町橋

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

山中 善治

Q

〔仮〕中小企業振興基本条例の内容は

A

明確な目的設定に取り組む



**問** 条例の制定意義は。

**産業経済部長**

本市の条例を制定するにあたっては、明確な目的の設定や合意形成とともに、今後の具体的な振興計画につながるものとする必要があると考える。中小企業者や小規模事業者の喚起

を促すものであるとともに、市内産業全般にわたる視点に立つての検討や、本市の実情に即した地域産業の振興につながるよう取り組む。

**問** 協働の主体となる中小企業者の範囲は。

**産業経済部長** 地域の産業振興は、全ての市民が主体となり、地域の活性化を考え、将来に向けた合意形成を醸成することが求められる。このために多くの市民や中小企業者をはじめとする広範な関係団体を想定している。

**問** 期待される効果は。

**産業経済部長**

農業の6次産業化も含め、大いに期待している。

**問** 期待される効果は。

**産業経済部長**

高齢化や人口の減少、消費者ニーズの多様化、後継者不足など、従来とは大きく変化している地域経済に対応した新たな、ビジネスモデルを構築する。このことにより、地域産業の振興を促し、地域の持続的な発展につなげる。



滋賀県作成のパンフレット

**問** 商工会、観光協会、営農組

合関係だけでなく、NPOや授産施設などで社会貢献やボランティア活動と共に、食品を含め物品の製造や販売をされている団体もあるが、条例の範囲に含まれ、協働の主体となるか。

**市長** 企業立地の促進と雇用創出、観光振興や地域の活性化効果を期待している。

**問** 「甲賀市新名神高速道路戦略書」に盛り込まれている主な事業は。

**総合政策部長** 土山SA周辺活性化事業、国際観光客誘致事業、名神名阪連絡道路整備促進事業、甲南PA流出経路検討事業、市内中心街への道路整備事業

**問** 名神名阪連絡道路

森田 久生

Q

「新名神高速道路活用戦略」進捗は

A

活用戦略に沿って着実に事業を展開



今回は平成24年2月に策定された「新名神高速道路活用戦略」について質問しました。

**問** 新名神高速道路開通により、当市にもたらされた恵まれた環境活用戦略を進めることによる当市への効果は。

**市長** 企業立地の促進と雇用創出、観光振興や地域の活性化効果を期待している。

**問** 「甲賀市新名神高速道路戦略書」に盛り込まれている主な事業は。

**総合政策部長**

土山SA周辺活性化事業、国際観光客誘致事業、名神名阪連絡道路整備促進事業、甲南PA流出経路検討事業、市内中心街への道路整備事業



開発が待たれる土山サービスエリア付近

等を計画している。

**問** 事業内容の市民へ「見える化」や「市民意見の反映」も含めた進捗管理の機能状況は。

**総合政策部長** 実績検証、市民意見反映の機能部分に甘さがあった。PDCAを徹底する。

**問** 名神名阪連絡道路

実現に向けて、市としての取り組み姿勢は。

**市長** 市議会も後押しのための議連を立ち上げて頂いた。今後は知事・地元県議の力も借りながら全市民が共有する道路として、早期実現に向けて全力を尽くす。

**問** 甲賀土山インター周辺への新工業団地建設構想の基本スタンスと進捗状況は。



# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

茂國

竹若

**Q** 合併10年の総括と甲賀市の未来は

**A** 行政運営の成果が見えてきた



**問** 貴生川子ども園の運営は。

**教育長** 満足度は高いとの保護者の声を確認している。多様化する保育ニーズに応じた適切な運営ができている。



公園の雑草

局横断的な検討チームを編成し、子どもを産み育てやすい環境を整え、定住化田園構想等をすすめる。

**問** 地域情報音声放送の市民情報は、無料にするべきであるが。

**総合政策部長** 個々に必要な情報への一定の利用者負担は、理解が得られるものと考え

**問** 信楽高原鐵道の赤字解消は。

**総合政策部長** 公有民営化による上下分離方式を導入し、平成25年度は赤字になった。今後も利用促進等工夫をこらし経営努力を進める。

**問** 甲南中央運動公園などの維持管理が十分であるが。

**副市長** このままではいけないので、早急に対処する。

**問** 類似施設の業務の効率化と一般的な見直しはどうか。

**総務部長** 平成28年度に、総合的な施設整備計画を策定して計画的に見直しをすすめる。

**問** 人口減少と過疎化対策のプロジェクトが必要ではないか。

**市長** 元氣な甲賀市のまちづくりのために部



地域情報ネットワーク

中西弥兵衛

**Q** 次期総合計画の留意点と課題は

**A** 人口減少に対処した計画を



**問** 現行の総合計画の成果と課題を問う。

**総合政策部長** 平成26年3月末時点では、14項目の指標中10項目において達成率が順調に展開中であるが、前期基本計画中の79項目の指標の内、19項目において達成率が下降しており改善策を検討し取り組みたい。

**問** 平成23年8月の自治法改正との関連は。

**総合政策部長** 住民本位の計画策定へと転換が図られ「多元・多層の開かれた市民参加」を進めることでより馴染みやすい計画を目指したい。

**問** 次期計画策定の留意点と重要課題を問う。

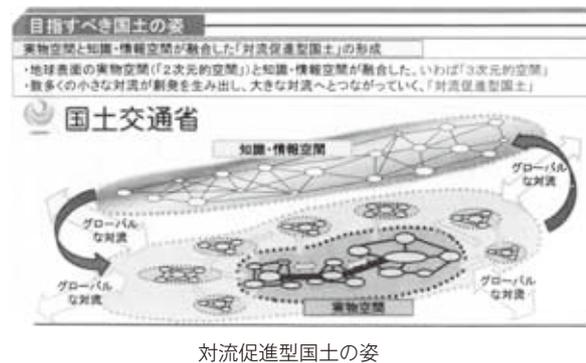
**総合政策部長** 人口減少が懸念される中、若

者にとって住みやすく、子どもを産み育てやすい環境を整え、高齢者がいつまでも健康で、生き生きと社会参加できるようなまちづくりを考えている。

**問** 対流促進型国土の形成をめざす「国土のブランドデザイン2050」との連携はどう図るか。

**市長** 今年7月に国交省が発表した「ブランドデザイン」は、2050年を見据えた国土づくりの理念を示したもので、50年後に人口1億人程度の安定した人口構造の保持を目指すもの

で、地域の資源や人材を有効に活用することが求められており、国のたたずまいをガーデンアイランドととらえて県と市町が課題を共有し、対話と協調による連携を図りながら対応してまいりたいと考えている。



対流促進型国土の姿

## 特別委員会の動き

庁舎整備  
特別委員会今年3月完成の  
一宮市役所視察甲賀市の  
新しい庁舎にもと  
づき実  
施設計  
をすす  
めたと説明していただ  
きました。整備は、実施設計に向  
けて、詳細な部分も含  
めて詰めの作業がすす  
んでいます。10月20日  
に開いた庁舎整備特別委員会では、7月の委  
員会で指摘した改善  
点、各フロアの詳細な  
部分について説明があ  
り精査しました。またこれに先立ち8  
月12日には、今年3月  
に完成し5月から新庁  
舎で業務を開始したば  
かりの愛知県一宮市役  
所（地下1階・地上15  
階）を訪れ、庁舎整備  
の経緯やコンセプト、  
留意点などについてお  
聞きしました。基本理  
念は「市のシンボルと  
なる庁舎」「便利でわ  
かりやすい庁舎」「市  
民に開かれた庁舎」「安  
全・安心な庁舎」「環  
境にやさしい庁舎」と  
いう5つのコンセプトまた南海トラフなど  
地震対策については、  
震度6強の地震を想定  
して基礎免震構造を採  
用。吹き抜けが空調効  
果に影響していないか  
については「影響な  
い」とのこと。庁舎機  
能を本庁舎に集約した  
ことについては「その  
都度設置していた災害  
対策本部は庁舎内に  
常設、情報収集機能も  
大幅に向上している」  
と。合併前の旧庁舎に  
ついては「尾西西館は  
解体、木曾川庁舎は耐  
震補強と改修工事を実  
施」することとした。甲  
賀市の実施設計に活か  
せるべき点は、活かさ  
すよう働きかけてい  
きます。信楽高原鉄道  
特別委員会11月29日運行再開決定  
復旧工事状況を視察平成25年  
9月の台風18号による杣川鉄橋流  
失、線路法面崩壊など  
の復旧工事は、順調に  
進められ、橋脚や橋梁  
も完成し、現在線路の  
敷設が進められていま  
す。又、法面工事も含  
め、復旧工事の進捗率  
は、87%（9月末現  
在）となっております。運  
行再開を今年の11月29  
日（土）に行うと発表  
されました。当委員会としては、  
執行部より逐次復旧工  
事の進捗状況の説明を  
求め、現地踏査も行い、  
現状把握に努めてきま  
した。運行再開日も決ま  
り、記念式典やイベン  
ト事業については、11  
月29日（土）に運行再  
開記念式や、信楽駅  
ホームで、レールをつ  
なぐ、市民の心をつな  
ぐなどの「つなぐ」を議会改革推進  
特別委員会議会改革先進地の  
視察研修を実施

7月27日

28日に、甲

賀市議会基

本条例で定めている議  
会報告会、議員間の自  
由討議、政策提案など  
について、先進的に取  
り組んでいる岐阜県可  
児市議会と高山市議会  
を視察し研修を行いま  
した。可児市議会では、市  
民の意見を聴くことに  
重点をおいた議会報告  
会を開催されており、  
委員長が必要と認める  
ときなどに議員間の自  
由討議を議案の質疑ととのことでした。  
甲賀市議会では、市  
民に開かれた議会と議  
会運営の確立を目指し  
て議会基本条例を制定  
しましたが、一部を除  
いて具体的な運用はこ  
れからです。これから  
も一層の議会改革に取  
り組んでいきます。

工事中の杣川橋梁



可児市での研修



## 組合議会の動き・議会活動報告・議会報告会の案内

甲賀広域  
行政組合議会

平成25年度一般会計決算認定及び  
平成26年度補正予算案可決

10月8日  
第3回定例

会議が開催され、平成25年度決算認定及び平成26年度補正予算の2議案を議決しました。

**歳入総額**

31億8625万円

**主な歳入**

分担金及び負担金

24億1431万円

使用料及び手数料

4億2091万円

**繰越金**

3815万円

**諸収入**

3434万円

組合債2億7190万円

**歳出総額**

31億2874万円

**主な歳出**

総務費 8787万円

衛生費 12億2402万円

消防費 15億3857万円

公債費 2億7762万円

**主な質疑**

行政改革推進につ

**問**

行政財政改革委員会

において進めている。

総務部門などの統合を

行い、事務事業の効率

化をすすめた。今後も

一層推進をはかる。

**問** 消防等の出動につ

いて

**答** 火災は人家は減

少、放火と思われるも

の、救急は高齢者、熱

中症がそれぞれ増加、

災害出動は、昨年の台

風災害による出動

平成26年度補正予算

(第2号)

歳入歳出それぞれ

1206千円を減額、

歳入歳出総額を32億

1798万3千円とする。

(文責 竹若茂國)

引揚救助訓練



### 議会活動報告 (7月～9月)

7月1日	庁舎整備特別委員会		8月27日	議会運営委員会	
7月3日	視察受入【福井県大野市議会】	広報	9月2日	本会議	決算議案等上程
7月7日	広報特別委員会	編集会議	9月3日	本会議	条例議案等上程
7月14日	広報特別委員会	編集会議	9月10日	本会議	議案審議・採決・付託
7月22日	産業建設常任委員会		9月11日	本会議	一般質問
7月23日	懲罰特別委員会		9月12日	本会議	一般質問
7月24日	視察受入【宮崎県えびの市議会】		9月12日	議会運営委員会	
7月28日	議会改革推進特別委員会視察	可児市役所	9月12日	広報特別委員会	編集会議
7月28日	議会改革推進特別委員会視察	高山市役所	9月16日	本会議	一般質問
7月30日	民生常任委員会		9月18日	決算特別委員会	
7月30日	文教常任委員会		9月19日	決算特別委員会	
8月1日	信楽高原鐵道対策特別委員会		9月22日	決算特別委員会	
8月1日	懲罰特別委員会		9月24日	決算特別委員会	
8月5日	視察受入【福井県小浜市議会】	広報	9月25日	総務・民生・文教・産業建設常任委員会	
8月8日	議会改革推進特別委員会		9月30日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決
8月11日	総務常任委員会		9月30日	議会運営委員会	
8月11日	懲罰特別委員会				
8月12日	庁舎整備特別委員会行政視察	一宮市役所			
8月26日	文教常任委員会				

日時	会場	住所	班
平成26年 11月13日(木) 19:00～21:00	岩上公民館	甲賀市水口町新城557	①
	甲南庁舎大会議室	甲賀市甲南町野田810	②
平成26年 11月14日(金) 19:00～21:00	水口社会福祉センター	甲賀市水口町水口5609	②
	信楽山村開発センター	甲賀市信楽町長野1252	③
平成26年 11月15日(土) 19:00～21:00	かふか生涯学習館	甲賀市甲賀町大原中886	①
	土山開発センター	甲賀市土山町北土山1715	③

### 議会報告会のご案内

甲賀市議会基本条例に基づいて、左記のとおり議会報告会を開催します。

市内6会場を、常任委員会・特別委員会・地域等で調整された3班(1班8人程度)で分担します。今回は、主に9月議会の報告で、質疑・意見交換もを行います。どちらの会場でも参加できます。

# “こうか Vol.12 ええとこ 再発見”

## 市内の花の名所

今回は派手さはありませんが自然の中で美しく花を咲かせ、楽しく散歩できる場所を選びました。それぞれの地域は春は足下にショウジョウバカマやスミレ類が楚々と花を開き、山の斜面にはコバノミツバツツジなどのツツジ類やタムシバ、ヤマザクラにガマズミ類など多くの木々が咲きます。秋にはアキノキリンソウやノコンギクなどのキク類、シソの仲間、キキョウ科の草花がひっそりと花を付け、また紅葉も美しいところです。

(写真と文：佐治達三 甲南町)

### 信楽町

#### イボタノキ

紫香楽宮跡から田代の東海自然歩道。モクセイ科で花の時期は5月～6月。庭木にも使われます。



### 甲賀町

#### シロヤシオ

那須が原山から坂下峠への尾根路。

5枚の葉がお皿のように綺麗に並び、ゴヨウツツジ、マツハダとも呼ばれます。ツツジ科。花は5月の連休過ぎから6月初め頃。



### 水口町

#### ホンシャクナゲ

山上から堀越林道経由の飯道山。他のシャクナゲと異なり、花びらは7～8枚で雄蕊は14～16本もあります。ツツジ科で5月の連休のころから下旬まで見られます。



### 甲南町

#### ツリガネツツジ

杉谷から岩尾池。ウスギヨウラクとも呼ばれ、花は4月から6月中旬頃に葉の下に白から薄い黄緑色の花を吊り下げます。ツツジ科。



### 土山町

#### ウツギ

猪足谷から宮指路岳。卵の花とも呼ばれ、蕾の形が小さい卵のように綺麗だから付けられた名前でしょうか。花期は5月から6月。旧暦の卯月はこの花から来ているという話もあります。アジサイ科。



## 編集後記

- ◆心地よい季節となりました。秋といえば、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、市民の皆さんは、それぞれの秋を感じながら過ごされていることと思います。
- ◆広報紙は「読みやすさ」「わかりやすさ」を基本に、どれぐらいの方に、読まれているのだろうか、と思いながら毎号、編集作成に取り組んでおります。
- ◆水の中に小石を投げ込むと、そこから小さな輪が水面に広がっていくように、1人でも多くの読者に読んでいただき「最近、市議会だよりが変わったね」と言われるような広報紙を目指していただけるよう努力してまいります。(広報特別委員 片山 修)

## 12月議会の予定

- 12月2日 (火) 本会議(第1日) 議案上程、提案理由説明
- 12月9日 (火) 本会議(第2日) 議案審議、採決、付託等
- 12月10日 (水) 本会議(第3日) 一般質問
- 12月11日 (木) 本会議(第4日) 一般質問
- 12月12日 (金) 本会議(第5日) 一般質問
- 12月15日 (月) 本会議(第6日) 一般質問(予備日)
- 12月16日 (火) 委員会
- 12月17日 (水) 委員会予備日
- 12月19日 (金) 本会議(第7日) 最終日

## カメラの



毎年7月24日に甲賀町の大鳥神社で開催される「大原祇園祭」。



「花奪い神事」では、飾られた花を奪おうとする人と、それを取らせまいと青竹で叩く人との壮絶な様子が展開されます。すべての災いや病気の悪魔をはらう祭礼で、その華麗さと荒々しさで知られています。

(写真撮影：森田久生委員)